

# “こんなまちだったらいいな” 石和町

つなげよう、つたえていこう、温かい心 いさわ






かけはし  
 R4春号の  
 第4次地域  
 福祉活動  
 計画概要版と  
 合わせてご覧ください



## 《経過》

石和町は市内で最も人口が多い地区で、温泉街のため、多様な背景を持つ方が暮らしています。このため、地域福祉推進委員会では住民同士の顔が見える関係づくりを目指し活動してきました。「あいさつ・声かけ」「世代間交流」「環境美化」「防災」の4つのグループによる実践や推進活動は、盛んになってきましたが住民活動としての広がりが弱い状況です。いかに地域住民を巻き込んで、賛同者を増やしていけるように推進活動を展開していくかが課題となります。第4次地域福祉活動計画では、安全安心の呼びかけに加え各推進委員が、自分達の地区で各グループ活動が展開できるようにしていきます。地域包括ケアシステムや地域共生社会のこれからのあり方を理解し、区長はじめ、地域福祉に携わる各種団体等と横連携を図り、地域の実情にあったり方で推進活動を展開していきます。

## 《実践すること》

	<p><b>あいさつ・声かけをして「会話ができる」関係づくりをすすめよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の中で日ごろから顔を合わせたときに積極的にあいさつをしましょう</li> <li>● 登下校時のあいさつなど、日ごろの生活の中でできることから取り組みましょう</li> </ul>
	<p><b>世代を超え、子どもから高齢者まで交流しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な団体と協力して交流の場をつくりましょう</li> <li>● 老若男女かわからず、声を掛け合い、積極的に参加しましょう</li> </ul>
	<p><b>環境美化活動を通してボランティア精神を育てよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもから大人までゴミ拾いなど、地域の中で一緒にできることを見つけましょう</li> <li>● 自分たちができるちょっとした活動を通してボランティアの意識を持っていきましょう</li> </ul>
	<p><b>防災意識を高め、安心・安全な地域を創っていきましょう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災に関するイベントや学習会に積極的に参加しましょう</li> <li>● 自分自身、仲間と一緒に参加することが、災害にも強い地域づくりにつながっていきます</li> </ul>
	<p><b>身近な地域の危険な場所を共有し、事故防止を呼びかけよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民活動や行事等を通じて、交通事故防止の呼びかけや危険個所の周知をしていきましょう</li> <li>● 子どもや高齢者にやさしい運転を呼びかけていきましょう</li> </ul>



〈お問い合わせ〉

**笛吹市社会福祉協議会**  
**石和地域事務所**

〒406-0027 笛吹市石和町下平井578(笛吹市いさわふれあいセンター なごみの湯内)  
 TEL.055-262-1267 FAX.055-262-1207



# “こんなまちだったらいいな” 御坂町

## となり近所気にかかけあって、 地域の絆をつなげよう

かけはし  
R4春号の  
第4次地域  
福祉活動  
計画概要版と  
合わせてご覧ください



### 《経過》

御坂町は、果樹地帯で合併前からサロン活動やボランティア活動が盛んな町でしたが、近年「多世代の交流が薄れてきている」「コロナ禍も伴い地域とのつながりが希薄化してきている」などの不安な声が聞かれています。これらの声から御坂町として、まずは、隣近所の付き合いから地域づくりを始めることが大切であると考え地域福祉推進委員会を中心に下記の目標にみんなで一緒に取り組んでいくこととなりました。

～隣近所の付き合いから顔と顔を合わせ、お互いを知る機会を作り、地域の絆をつなげていきましょう～

### 《実践すること》

#### みんなで助け合える地域を作りましょう



- 隣近所声を掛け合いましょう
- 隣近所災害時に助け合える意識を持ちましょう
- 一人暮らし高齢者の見守りをしましょう
- あいさつ運動をしましょう

#### 仲間づくりをしましょう



- サロンで仲間づくりをしましょう
- あいさつ運動をしましょう
- 区の行事に参加しましょう

#### ボランティア活動をしましょう



- 子どもの見守りをしましょう
- 一人暮らし高齢者の見守りをしましょう
- 花植えなどできることをしましょう



〈お問い合わせ〉

笛吹市社会福祉協議会  
御坂地域事務所

〒406-0804 笛吹市御坂町夏目原744(笛吹市役所御坂支所庁舎内)  
TEL.055-287-7355 FAX.055-287-7356



# “こんなまちだったらいいな”一宮町

## 声をかけ 支えあう町 いちのみや

かけはし  
R4春号の  
第4次地域  
福祉活動  
計画概要版と  
合わせてご覧ください







### 《経過》

一宮町は福祉に対する関心が高く、住民同士で助け合うボランティア活動も行われています。一方で、全国有数の桃とブドウの産地であるため、農繁期には色々な活動が休止となり、交流の機会が一時的に減少する傾向があります。

今回、第4次地域福祉活動計画の策定にあたり、住民のみなさんの声を集めるため、座談会ができない代わりに「住民の声」聞き取りシートを地域住民の方に協力していただきました。みなさんの声から見えてきた一宮町の課題は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、色々な行事や活動が中止や規模縮小となり、顔を合わせる機会が減り、住民同士の繋がりが希薄化していること、地区役員や団体の担い手が不足していること、高齢化が進み支援を必要とする人が増えてきていることなどでした。

そこで、地域福祉推進委員会にて、自分たちでできることを意見として出しあい、4つの目標に取り組んで行くこととなりました。

### 《実践すること》

	<b>いつでも自分からあいさつをしよう</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 日頃から声をかけあい、隣近所との繋がりを持ち、気にかけてあえる関係を作ろう</li></ul>
	<b>行事や活動がある時には、誘い合って参加し、住民同士の交流を深めよう</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 住民同士で顔の見える関係ができるよう、行事や活動に参加し、子どもから高齢者まで交流を持てるようにしよう</li><li>● 行事などを工夫してできる形で開催し、伝統や活動の理解を深め、次の世代に受け継いでいけるようにしよう</li></ul>
	<b>誰もが安心して暮らせるように、地区や隣近所で助けあえる地域にしていこう</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 日頃から隣近所で声をかけあい、見守りを心がけよう</li><li>● 緊急時にも支えあえる仕組みを考えて進めて行こう</li><li>● 地域の特性に合わせたボランティア活動をしよう</li></ul>
	<b>交通弱者となっても困らないよう、色々な移動の方法や取り組みについて学び、考えて行こう</b>



〈お問い合わせ〉

笛吹市社会福祉協議会  
一宮地域事務所

〒405-0073 笛吹市一宮町末木 807-6 (笛吹市役所一宮支所庁舎内)  
TEL.0553-47-2288 FAX.0553-20-5210



# “こんなまちだったらいいな” 八代町

## あいさつから始める 気にかけて支え合える まちづくり

かけはし  
R4春号の  
第4次地域  
福祉活動  
計画概要版と  
合わせてご覧ください



### 《経過》

八代町は、果樹地帯でリニアが見える丘などもあります。ボランティア活動や昔ながらの支え合い活動が活発な地域でした。しかし、近年「新住民や若い世代との交流が減少している」「コロナ禍で地域のつながりが希薄化している」など不安な意見が聞かれています。そこで、地域福祉推進委員会では、「子ども・子育て」「高齢者」「地域交流・つながり」の3分野ごとに話し合い、第4次地域福祉活動計画で、子どもから高齢者まで地域住民がつながり、安心安全なまちづくりを展開できるようにしていきます。

### 《実践すること》

#### あいさつ、声かけ、見守りで子どもから大人まで安全安心なまちづくりをしよう



- 子どもの登下校時には地域住民が声かけ、見守りをしましょう
- 大人から子どもへのあいさつで、顔の見える関係づくりをしましょう
- 子育て世代が集まり交流ができる場をつくりましょう
- 地域のみんなで子どもたちの見守り、声かけをしましょう

#### 住民が集える居場所づくりから、相談や支え合うつながりを深めよう



- 困りごとが相談できるよう地域の高齢者へ相談窓口を伝えていきましょう
- 相談ができ、顔の見える関係性をつくるためにも集いの場をつくりましょう
- 生活の困りごとが住民同士で助け合える活動を広げていきましょう
- サロン等の集まりに参加して、顔の見える関係づくりをしましょう
- お互いに困ったことを助け合いましょう

#### 世代を超え、住民全員がつながりあえるまちにしよう



- 地域行事を通して地域のつながりを深めていきましょう
- 世代間交流で全世代が交流できる場をつくりましょう
- 伝統行事を継承し、地域のつながりを絶やさないようにしましょう
- 子どもから大人まで誰でも集まることができる場をつくり交流しましょう



〈お問い合わせ〉

笛吹市社会福祉協議会  
八代地域事務所

〒406-0822 笛吹市八代町南917(笛吹市役所八代支所庁舎内)  
TEL.055-265-2240 FAX.055-265-5183



# “こんなまちだったらいいな” 境川町

## 境川に住んで良かった ～ 共に支え・生き・歩む 地域づくり～

かけはし  
R4春号の  
第4次地域  
福祉活動  
計画概要版と  
合わせてご覧ください



### 《経過》

境川町は、農業地帯で、隣近所の支え合いがまだ多く残っている地域です。H27年度より行政区単位で福祉懇談会を開催してきました。コロナ禍で大勢が集まることができずに4区が未実施となっていますが、「自分たちの区のことは自分たちで話し合って決めていく」を活動の基本方針として、自分たちでできること・やれることを実践してきました。近年は「コロナ禍において地域のつながりが希薄化してきて、支え合いができなくなってしまう」という不安の声が聞かれています。

第4次地域福祉活動計画は、第3次地域福祉活動計画の境川町活動計画である「自分たちの区のことは自分たちで話し合って決めていく」を引き続き推進していきます。

境川全体の活動は、地域福祉推進委員会で3つの実践することとしてまとめました。

各区の活動と全体の活動を進めて、安心して暮らすことができる、境川らしい地域づくりを実践していきましょう。

### 《実践すること》



#### 自分たちの区のことは自分たちで話し合って決めていきましょう

- 小地域での福祉懇談会を継続して実践していきましょう



#### 自分たちでできること・やれることを進めていきましょう

～各区で決めた活動の推進～

- あいさつ・声かけなど、見守りを兼ねた活動
- 運動会・お祭りなど、区民みんなで集まって行う活動



#### 楽しいグループづくりをしていきましょう

- 人とのかかわりを持ち、同じ目的を持った活動ができる仲間を増やしましょう



〈お問い合わせ〉

笛吹市社会福祉協議会  
境川地域事務所

〒406-0853 笛吹市境川町藤袋 2588 (境川坊ヶ峯ふれあいセンター内)  
TEL.055-266-5911 FAX.055-266-5913



# “こんなまちだったらいいな” 春日居町

## つづけ! 笑顔のまち 春日居

かけはし  
R4春号の  
第4次地域  
福祉活動  
計画概要版と  
合わせてご覧ください



### 《経過》

春日居町は、合併前からボランティアが中心になり町づくりをしてきました。学校と住民と一緒に子どもたちの見守りを行い、あいさつを通してお互い気にかけてくれる関係もできていますが、コロナ禍をきっかけにサロン活動やボランティア活動、世代間の交流の場となる地域行事など、十分な活動ができなくなりました。

このような状況下から、地域の望ましい姿や課題について「住民の声」聞き取りシートでいただいた意見を基に地域福祉推進委員会で話し合いました。住民活動の基盤ができていても、年々人と人とのつながる機会は減り、高齢者への生活支援やボランティア等の担い手不足の課題が出てきました。これらの声を基に「つづけ! 笑顔のまち春日居」のサブテーマを掲げ、3つの目標を取り組んでいくことになりました。

### 《実践すること》

#### 笑顔で、大きな声で自分からあいさつをしよう!



- 顔を合わせたら顔見知りでない方とでもあいさつし、気軽に声かけられる関係を作りましょう
- 子どもだけでなく、大人同士もあいさつをしていきましょう
- 返事が返って来なくてもあいさつを続けていきましょう

#### 地域行事や町のイベントがあるときは、 地域みんなに積極的に参加を呼びかけよう!



- 行事に参加するとともに、同世代の方だけでなく各世代の方にも声かけをし交流を行い、お互いに気にかけてくれる関係を作りましょう
- 伝統行事に積極的に参加し文化の継承をしていきましょう
- 声掛けだけでなく、手紙・回覧版等色々な方法で呼びかけを行いましょ

#### ボランティアの輪を広げ、次世代につなげよう!



- 今実践中のボランティア活動を継続し、活動する仲間を増やしましょう
- 若い世代にボランティア活動について知ってもらう機会や、ボランティア活動のきっかけを作っていきます
- 身近で無理なくできることからボランティアを始めていきましょう



〈お問い合わせ〉

笛吹市社会福祉協議会  
春日居地域事務所

〒406-0013 笛吹市春日居町寺本142-1 (春日居福祉会館内)  
TEL.0553-26-3667 FAX.0553-26-6435



# “こんなまちだったらいいな” 芦川町

## 住民全員がボランティア!! ～できることをつづけよう～

かけはし  
R4春号の  
第4次地域  
福祉活動  
計画概要版と  
合わせてご覧ください



### 《経過》

芦川町は、高齢化率65%を超える山間部に位置する過疎地域ですが、住民の皆さんは「みんなで支え合うのは当たり前」と、普段から男衆・女衆ボランティアの会をはじめとするさまざまな支え合い活動を行っています。

今回、「住民の声」聞き取りシートで40名以上の方にご協力をいただく中で、①ひとり暮らし・高齢者世帯が増加している、②地域のつながりが希薄になってきている、③担い手や支え手が不足している、④移住促進・地域活性化、⑤災害時の対応などが地域の困りごととして数多く聞かれました。

今後、ますます高齢化が進むことが予測される中で、今できていることを続けながら、安心して芦川町で暮らし続けられるようにするためには何が必要かを地域福祉推進委員会で検討し、取り組み目標をまとめました。

### 《実践すること》

#### 元気な地域をめざして



- 皆で気軽に見守り・声かけをしましょう
- 送迎できるしゅみを考えましょう
- ゴミ捨てなど続けられるしゅみを考えましょう
- 健康を維持できる取り組みをしましょう(軽スポーツを推進しましょう)

#### つながり合う地縁社会をめざして



- 集う場や気軽に話ができる場をつくりましょう
- 子どもと高齢者との交流の場をつくりましょう
- 伝統行事を(形を変えて)継続しましょう

#### 新しい人づくりをめざして



- 移住してきた住民も地域の仲間になれるような働きかけをしましょう
- 芦川の良いところをPRしましょう
- 地域のリーダーを育てましょう

#### 緊急時にも安心できる対応をめざして



- 自然災害や緊急時の、自助・共助・公助について考えましょう



〈お問い合わせ〉

笛吹市社会福祉協議会  
芦川地域事務所

〒409-3704 笛吹市芦川町鶯宿466-1(芦川ふれあいプラザ内)  
TEL.055-298-2170 FAX.055-298-2172

